

『6この点』
 点字を発明したルイ・ブライユのおはなし
 出版社：岩崎書店 ISBN：978-4-265-85102-7
 ジェン・ブライアント・文 ボリス・クリコフ・絵 日当陽子・訳



5才のときに事故で視力を失ったルイ・ブライユは盲学校に進みます。彼は15歳のとき、アルファベット26文字をたった6この点で表す方法をたったひとりで思いつきます。改良を重ねてつくられた指でなぞることで字を読み書きする点字の仕組みはブライユ点字と呼ばれ、世界中の目の不自由なひとたちの生活を大きく変えることになるのです。巻末には日本語の点字の表記方法が紹介されており、実用性のある1冊となっています。

ちゅうおうとしょかん さかた としよかん おけがわ としよかん
 ・中央図書館・坂田図書館・桶川図書館に蔵書があります



子どもつうしん

桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」

特集 フランスの本

いよいよパリオリンピック・パラリンピックがはじまりました！
 みなさんはフランス・パリにどんなイメージを持っていますか？
 エッフェル塔や凱旋門、あるいはルーブル美術館のモナ・リザ像を思い浮かべるひともいるかもしれません。
 今回の「子どもつうしん」は、そんなおしゃれなイメージがある「フランスの本」を紹介します。



B
O
O
K

アメリカ生まれのフランス語の教科書

『こんにちば、アンリくん』

エディット・ヴァシュロン・文
 ヴァージニア・カール・文 / 絵
 松井 るり子・訳

出版社：徳間書店 ISBN：978-4-19-865630-0



アンリくんとなこのミッシェルくんがであったのは魚屋さんの店のまえでした。ふたりは大家族どうしなかよく魚を買って帰り、いっしょにくらすことになります——。ふたりの会話のやりとりを読み進めるうちに、数のかぞえかたや色の名前などを自然とおぼえることができるようになっていきます。それもそのはず、この本はアメリカでフランス語をべんきょうする子どもたちのための本だからです。

続編の『アンリくん、どうぶつ だいすき』もとてもかわいらしい本なので、こちらも読んでみてください。

さかた としよかん そろしよ
 坂田図書館に蔵書があります

中央図書館スタッフが選んだオススメ本 特集テーマ「フランスの本」

大人気のポスターを描いた、ロートレックってどんな人？
 『はじめてであう絵画の本12』
 『ロートレック』
 アーネスト・ラボフ・文
 みつじ まちこ・訳
 出版社：あすなろ書房 ISBN：4-7515-1832-1

フランスで一番愛されている少女のおはなしです。
 『小学館版 学習まんが人物館』
 『ジャンヌ・ダルク』
 安達 正勝・監修
 たまき ちひろ・まんが
 出版社：小学館 ISBN：978-4-09-270026-0

料理はもちろん、フランスの文化や歴史も紹介！
 『国際理解にやくだつNHK地球たべもの大百科4』
 『フランス(フランス料理フルコース)』
 谷川 彰英・監修
 出版社：ポプラ社 ISBN：978-4-591-06339-2

仲よし姉妹が、パリでの素敵な思い出をふり返ります。
 『わたし、パリにいったの』
 たかどの ほろこ・作
 出版社：のら書店 ISBN：978-4-905015-57-4

ペペットとモンマルトルひろばにでかけましょう！
 『ペペットのえがきさん』
 リンダ・ラヴィン・ロディンク・文
 クレア・フレッチャー・絵
 なかがわ ちひろ・訳
 出版社：絵本塾出版 ISBN：978-4-86484-116-0

ニューヨーク生まれのスズメのエマが、パリにいるしんせきをたずねてきて、パリの名所をまわるといって写真絵本。
 『パリのエマ』
 クレール・フロッサール・文 / 絵
 クリストフ・ユルバン・写真
 木坂 涼・訳
 出版社：福音館書店 ISBN：978-4-8340-8189-3

みんなも知ってる有名なお話がいっぱい！
 『ペロー童話集』
 ペロー・作 天沢 退二郎・訳
 出版社：岩崎書店(岩波少年文庫・刊) ISBN：978-4-00-114113-9

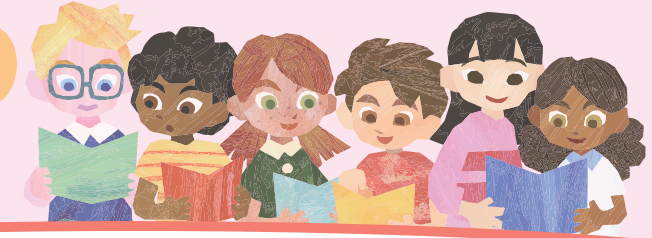


OKEGAWA hon プラス+ は 図書館、本屋さん、イベントスペース、カフェなどがいっしょになった、みんなが楽しく学べるしせつです。イベントスペースでは、いろんな先生が来て、宇宙、南極、動植物、科学実験などを教えてくれるイベントをやっています。図書館や本屋さんですぐとりにあるのでイベントで学んだことを本ですぐ調べられることもできるよ。OKEGAWA hon プラス+でのイベントの予定についてはこちらをご覧ください▶



おけがわマイン 3F
 〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2
 OKEGAWA hon プラス+
 ☎048-786-6353 桶川市立中央図書館
 発行者：OKEGAWA hon プラス+運営協議会(桶川市・株式会社新都市ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社)「202407」





好きこそもの上手なれ!

『ジャコのお菓子な学校』

ラッセル・オスファテール・作
風川 恭子・絵
ダニエル遠藤 みのり・訳

出版社：文研出版 ISBN：978-4-580-82159-0



ジャコは赤ちゃんのころから食べることが大好き。かわりに勉強にはまったく興味がありません。小学2年生になり、かれは図書館でクッキーの作りかたを目にしたことからお菓子づくりにめざめます。しかしいざ作りはじめてみるとちゃんと読み書きや算数ができないといけなことがわかり、勉強にも身が入るようになります。

フランスの小学校は水曜日も休み(!) など、新学年が秋にはじまることなど、日本とはちがった文化を知るきっかけにもなる1冊です。

ちゅうおうとしょかん さかた としょかん かわたや としょかん ぞうしょ
・中央図書館・坂田図書館・川田谷図書館に蔵書があります

いたずらっこ、世にはばかる?

『Bonjour! プチ・ニコラ』

サンペ・絵
ゴシニ・文
曾根 元吉、一羽 昌子・訳

《プチ・ニコラシリーズ①》

出版社：世界文化社 ISBN：978-4-418-20803-6



いたずら好きの10才の男の子ニコラとそのクラスメイトたちのわんぱくぶりと、騒動に巻き込まれる大人たちのにぎやかな性格が、いかにもフランスらしくおおらかでくすっとした笑いをさそいます(それでもメガネの子とは口げんかはしても手はださないという決まりはちゃんと守っていて、フランスの子どもたちはえらいなと思います)。

《プチ・ニコラ》のシリーズはフランスで50年以上愛され続ける国民的人気シリーズで、世界40カ国で翻訳されています。

ボナペティ!(さあ、めしあがれ!)

『料理は子どもの遊びです』『お菓子づくりは子どもの遊びです』

ミシェル・オリヴェ・文・絵 猫沢 エミ・訳

出版社：河出書房新社 ISBN：978-4-309-29366-0

出版社：河出書房新社 ISBN：978-4-309-29397-4



フランス人の食事時間は世界でいちばん長いのだそうです。そんなフランスで半世紀も読み継がれている料理絵本に興味がありますか?

まず、いかにもフランスっぽい色目の表紙が目をひきます。イラストからだとして



もおおまかな作りかたが書いてあるだけの印象を受けますが、家にある調理器でちゃんと本格的なフランス料理をつくること驚きました。

もしかしたら『ジャコのお菓子な学校』のジャコもこれらの本を読んで料理づくりにチャレンジしたかもしれません。

ちゅうおうとしょかん さかた としょかん ぞうしょ
・中央図書館・坂田図書館に蔵書があります

たいせつなことはね、目には見えないんだよ...



『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ・作
内藤 濯・訳

出版社：岩波書店(岩波少年文庫・刊) ISBN：978-4-00-375131-2

世界中で読まれている永遠の名作です。サハラ砂漠に不時着したパイロット(ぼく=作者)は「ほんとうのこと」しか知りたがらない星の王子さまがする6つの星の話をつうじ、大事なことを教わるとい物語は、作者の描いた挿絵のようにとってもふんわりした印象ですが、どこかさびしさを感させます。

この作品は“子どものとき”、“子育ての時期”、“老人になり孤独になったとき”でそれぞれ感じかたが変わるそうです。みなさんもぜひこの本を何度も読んでその変化を体験してみてください。